

【宇都宮】J2栃木SCの現状や今後を考えるトークイベント「真夏の夜にクラブのキーマンが勢ぞろい！」(栃木フットボールマガジン主催)が8月28日夜、江野町の

宇都宮・宮カフエ

宮カフエで開かれ、約60人のサポーターが橋本大輔社長らクラブ関係者の言葉に耳を傾けた。

トークイベントは今回で4回目。栃木SCは今季開幕3連敗で前半戦終盤も6連敗と

栃木SC 熱く語る

巻き返し「信じていた」

苦境に立たされたが、後半戦は4連勝を含む9戦負けなしで13位まで浮上。元日本代表FW大黒将志選手らのハードワークで巻き返している。

アウェーチームから苦言を呈される県グリーンスタジアムの芝問題もテーマとなり、橋本社長は「子どもたちが栃木でサッカーを続けたいと思える環境が大切。ネットに書

き込まれた声をまとめ、県に伝えた」とクラブ側の取り組みを報告した。

また、一時結果が出せず苦しんだ横山雄次監督について新里裕之強化部長は「負け込んでもやるべき事はぶれずに続けていた。選手との信頼関係もあり、いけると信じていた」と熱く語っていた。

(青柳修)



栃木SCの前半戦などを振り返ったトークライブ